

質問書別紙4 QX-W1020

仕様	備考(関連機能)	特長
有線インタフェース		
10/100/1000BASE-Tポートを1ポート標準搭載すること		
10/100/1000BASE-T(PoE受電)ポートを1ポート標準搭載すること		
コンソールポート(CLI)による設定、状態確認が可能であること		
標準搭載ポートは、Auto Negotiationに対応し、速度、全半二重の固定設定が可能なこと		
最大1600byteのジャンボフレームに対応可能であること		
ケーブル誤接続等により、誤ってループ状態が構成された場合に自動的にポートをブロックしブロードキャストストームを防止する機能(ループ検出機能)を有すること		○
複数の物理リンクを束ねて1つの論理リンクとして扱う技術(リンクアグリゲーション)を有すること		
無線インタフェース		
アクセスポイント単体で動作する独立(FAT)モードとコントローラより制御可能なコントローラ管理(FIT)モードの両方をサポートすること		
IEEE802.11ac(wave2)に対応していること		
2.4GHz帯、5GHz(W56)帯、5GHz(W52/W53)帯の3つの周波数帯を同時利用できること		○
無線機能/無線セキュリティ		
1ラジオあたりに最大16のSSIDが設定できること		
ビーコンフレーム内にSSIDを隠し、ブロードキャストプローブ要求に応答しない技術を有すること	beacon ssid-hide	
MACアドレスに基づいてWhite List/Black Listを設定できること		
WEP(40, 104, 128bit)に対応していること		
WPA/WPA2/WPA3に対応していること		
TKIP/AESに対応していること		
IEEE802.1X認証/MAC認証/マルチステップ認証に対応のこと		
ダイナミックVLANIによるVLAN付与に対応できること		
ローカルデータベース、外部RADIUSサーバによる認証が可能なこと		
WIDS/WIPSに対応していること		
DFS(Dynamic Frequency Selection)に対応していること		
WMM標準に基づいたQoS設定が可能なこと		
WLANメッシュ機能に対応していること		
NetWeister		
クラウド型統合管理サービスにより、一元的に管理が可能であること	NetWeister対応 FATモードのみ	○
ネットワーク管理機能		
最大256のVLANを同時にタグVLANで通信可能なこと		
128VLANインタフェースを設定可能で、それぞれにIPアドレスを1つ付与できること		
通信パケットのパケットフィルタ機能を有すること		
STATICルーティング機能を有すること		
Telnet、SSHにより装置へのリモートログインが可能であること		
GUI(Web Console)による設定が可能であること		
FTP/TFTPクライアント機能を有すること		
LLDP機能を有し、隣接するマルチベンダー機器に対して自装置の機器情報をアダプタイズできること		
DHCPクライアント、DHCPリレー、DHCPサーバ機能を有すること		
NTPクライアント機能を有すること		
Syslogプロトコルにより、Syslogサーバに動作状況のテキストを送付可能であること		
SNMPエージェント機能を有し、SNMPv1/v2c/v3に対応可能であること		
RMONエージェント機能を有すること		
設置条件		
外形寸法(Width x Depth x Height)が、215 x 215 x 47.5mm以下であること		
質量が0.8kg以下であること		
ACアダプタ電源入力時、90~264Vでの動作が可能であること	ACアダプタは別売	
最大消費電力が、15W以下であること		
ファンレス設計であること		
温度 0~45°Cで動作すること	注) 非結露が前提	
壁/天井取り付け用ブラケットが標準添付であること		○
VCCIクラスA、RoHS指令に対応していること		
製品購入から該当製品の出荷停止後5年間は、装置本体のハードウェア故障時に、無償にて代替品と交換すること。	リミテッドライフタイム保証 (ACアダプタはリミテッドライフタイム保証対象外)	○